

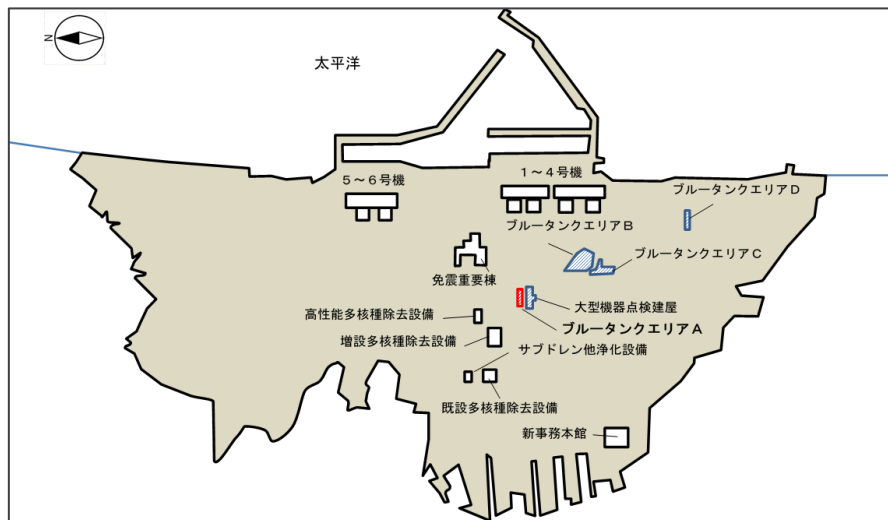
## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年11月9日（火）
- 2 確認箇所  
ブルータンクエリアA（大型機器点検建屋北側）
- 3 確認項目  
構内に保管されているブルータンクの保管状況

### 4 確認結果の概要

地下水等の流入により増加する建屋内滞留水を処理・保管するため、原発事故当初は短期間で設置可能な横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）やフランジ型タンクを用いていたが、漏えいリスクの低減及び土地の有効活用のため、溶接型タンクへのリプレースが進められた。本日（11月9日）はリプレース作業により撤去されたブルータンクが保管されているエリアの1つであるブルータンクエリアAの状況を確認した。（図1）

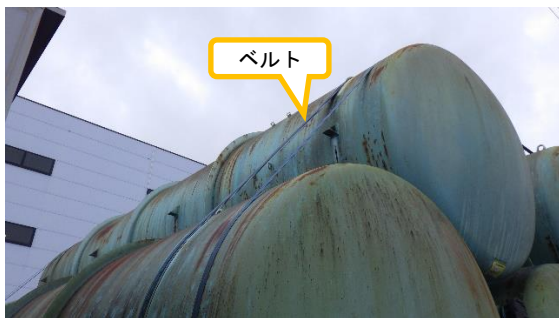
- ・ブルータンクエリアAは大型機器点検建屋北側に設置されており、30基のブルータンクが2段積み状態で保管されていた。なお、耐震対策として下段のタンクについては脚部が台座にボルトで締結されるとともに、上部のタンクとベルトにより固縛されていた。（図1、写真1）
- ・当該エリアには関係者以外が立ち入らないように、単管パイプによる区画が設置されていた。（写真2）
- ・東京電力では保管されているブルータンクについて、タンク内に残水が無いことを確認した後に、下部の取り外し部をフランジで閉止している。今回確認した範囲でフランジ部に異常は見受けられなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
ブルータンクエリアAの外観  
(西側から撮影)



(写真1-2)  
ベルトによる固縛の一例



(写真1-3)  
ボルトによる台座への固定状況



(写真1-4)  
タンク脚部と台座部分の状況



(写真2)  
単管パイプによる当該エリアの区画  
(南西側から撮影)



(写真3)  
閉止フランジ部の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。